

単元名：

「季節を短歌や俳句で表現しよう」

(全2時間扱い中 第1時)

授業日時 令和3年11月12日(金)第2校時

授業学級 4年2組

授業会場 4年2組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立てとねらい)

短歌や俳句に興味をもった子どもたちが、短歌や俳句を作ろうとする場面で、自分のお気に入りの場所で感じた季節を短歌や俳句にする活動を通して、自分の感じた季節を短歌または俳句に表現することができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの動き	・指導 ※留意点 《教材》 【評価】	時間
導入	1. 短歌と俳句について考える	「知ってる！」 「かるたの映画」 「百人一首の映画」 「おお～」 「夕焼けって確かに秋って感じる」	ちはやふるという映画を話題に百人一首・短歌について知っていることを聞く 自分が作ってきた短歌を紹介 自分が作ってきた俳句を紹介し俳句の音の違いや季節の言葉が必ず入ることを紹介する(他の先生の作品も紹介) 「じゃあ今日は先生たちが作ってきたような短歌や俳句を作ってみよう」	5
	2. お気に入りの場所	「校庭とか？」 「自然体験園」 「昇降口」 「どこ行こうかな」	「季節を感じる場所に行って、感じた季節を短歌や俳句にしてみよう」 「学校で季節を感じられそうなのってどこだろう」	5
	【学習課題】私のお気に入りの場所で短歌や俳句を作ってみよう			
展開	3. 活動	「紅葉が見えるところに行こう」 「なにについて書こうかな」 「校庭から田んぼ見えるかな」 「何書けばいいかわからない！」 「秋って感じる」 「夏よりも寒いから」	縦長の画用紙に短歌、または俳句を作る ＊子どもたちのいる場所を回る 「この場所に来てどんなことを感じた？」 秋を感じるか、冬を感じるのか、それはなぜか？	20
	4. 短歌・俳句の解説を書く	「昇降口の紅葉のことを書いたよ」 「遠くに見える山の紅葉がすごいって思った！」 「トンボが秋っぽいなって感じた」		10
終末	5. まとめ	「冬が来るって思った人もいるんだ」 「確かに山の色綺麗！」	数人に作品を発表してもらう 「みんなの思う季節を表現できたかな」 「同じ場所でもいろんな捉え方があるね」	5
【評価(対象)】自分の感じた季節を俳句または短歌に表現することができる(ワークシートの記入)				